

経営協議会における主な意見とその対応状況

| 会議開催日 | 委員からの意見 | 対応状況等 |
|----------------|---|---|
| 2022年 4月28日 | 対面授業とオンライン授業のすみわけをして、対面授業のメリットを訴求し、来日して学ぶ価値をアピールすることが重要である。また本学の今後の方向性も改めて考える必要がある。 | 感染症の状況を見ながら、2022年度春学期より担当教員の判断により対面講義を実施できることとし、現在は原則対面講義としながら、状況によりオンラインを活用している。また、フィールドトリップ、視察等、また学生間の交流事業についての対面実施を再開したことにより、ネットワーキングの活性化にも効果が上がっている。 オンラインは、就業しながら履修している学生の多い講義や、講師及び学生の体調不良時や何らかの事情で対面実施及び参加ができない場合の代替手段として活用するなどしているが、時間的、距離的制約がない、学生に限らず修了生を含む学外者の参加がしやすい、海外の講師を招へいする負担が少ない等のメリットがあるため、講義以外のセミナー等にも活用していく予定である。 |
| 2022年 6月6日 | 対面・オンライン授業の在り方について、学生の意見、考え方も取り込んでいただきたい。 | 就業しながら履修している学生の多い講義では、オンライン講義を活用し、学生にとっての利便性を向上させている。 学生を対象に実施しているアンケートでは、対面講義を希望する意見とともに、オンライン講義継続を希望する意見もあった。現在は原則対面講義としながら、状況によりオンラインを活用している。 |
| 2022年 6月23日 | 自治体関係者への本学の知名度が高くないため、自治体へのプロモーション活動に力を入れると良い。 | 2023年7-8月にかけて、自治体を対象としたプロモーション活動を実施した。具体的には、政令指定都市、中核市、特例市を含む158の自治体首長に、学長直筆の首長宛名及びサイン入りカバーレターをつけて、パンフレットとポスターを送付した。 |
| 2023年 3月27日 | 不動産運用も検討してはどうか。 | 不動産運用に伴う外部資金獲得の手段のうち、1階宿泊施設の宿泊料については、運用にあたって損失が生じない適正価格への改定を本年7月に実施済み。また、本学施設の外部貸出使用料についても受益者負担の原則に沿った適正価格となるよう来年4月の施行を目指し現在検討を進めている。 |

| 会議開催日 | 委員からの意見 | 対応状況等 |
|----------------|---|---|
| 2023年 3月27日 | 外部資金は重要性が増してきているため、予算全体の中で、様々な外部資金を分類しながら、わかりやすく予算の中で示していただきたい。 | 2023年3月29日にメールで経営協議会委員に対して、外部資金受入実績額を外部資金別に一覧化して送付した。 |
| 2023年 3月27日 | 内部質保証について、実際に定めた規則にそって研究教育の質を自己管理し、評価して高めていただきたい。 | 内部質保証体制を整備し自己点検・評価や改善に向けた活動をより組織的に実施するため、2023年度から政策研究大学院大学内部質保証規則（以下、「規則」という。）及び政策研究大学院大学教育の内部質保証に関する規程（以下、「規程」という。）を制定した。併せて、新たに入学選抜委員会及びカリキュラム等委員会を立ち上げた。さらに、スチューデントオフィス及び保健管理センターに運営委員会を新たに設けた。また、既に運営委員会を持つ各センターについても、内部質保証に関して議論ができるよう、規則に定める審議事項の改正を行った。 2023年度は、これらの新たに定めた規則及び規程に基づき、各委員会の開催や自己点検を実施している。 |